

2023年10月 診療カレンダー

住所:東京都中央区日本橋大伝馬町13-8  
 メディカルプライム日本橋小伝馬町3階  
 TEL:03-3639-3110 FAX:03-3639-3112

2023年11月 診療カレンダー

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31	1	2	3	4

**注目!**

インフルエンザ  
 予防接種  
 受付中です  
 予約システム  
 変わりました

新しい  
 予約システム

18時最終受付

日	月	火	水	木	金	土
29	30	31	1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	1	2

「今月の言葉」  
 困難を予期するな  
 決して起こらないかもしれぬことに心を悩ますな  
 常に心に太陽を持て  
 ~ベンジャミン・フランクリン~

一般診療	月	火	水	木	金	土	日
10:00-13:00	●	●	●	●	●	●	×
15:30-19:00	×	●	●	●	●	×	×

●9:00-12:30

お知らせ

・インフルエンザ予防接種開始しています!  
 TEL 03-5843-6255(午前中のみ) WEBはいつでも可  
 ・予約システムが変更になりました。しばらくご迷惑をお  
 かけしますが、よろしくお願いいたします



お彼岸の一日



暑さ寒さも彼岸までとはいいますが、今年の夏は本当に暑かったですね。連日、最高気温が35℃を超え、お彼岸を過ぎてもテレビの天気予報を観ては明日も暑いのか...とげんなりする日々でした。

さて先日、帰省中の息子と妻と私で、私の叔母であるJさんと食事をする機会がありました。Jさんは私の母の兄の奥さんですが、彼女はもともとマレーシアの出身で、19歳で大阪の大学へ留学生として来日。その後叔父と結婚して以来50年以上日本で暮らしています。Jさんは、大学生のころ大阪に住んでいて、私の母の実家の離れに下宿していました。幼かった私も祖母の家に遊びに行くとJさんが遊んでくれたのを覚えています。祖母は異国からきたJさんを実の娘のように可愛がり、あちこちへ連れ出し、美味しいものを沢山ご馳走してくれたそうです。毎日一緒に生活するなかでそれはそれは大事にしてくれたと言っていました。心が広くとても優しい祖母のことをJさんは大好きだったそうです。祖母は私が大学に入る前に亡くなりましたが、先日Jさんの夢の中に祖母が出てきたそうです。日本へ来た彼女にご飯をよそい方~ご飯が炊きあがったらまずしゃもじで十字に切ってほぐし、少しずつご飯を10回にわけてふんわりとご飯茶わんによそう~を覚えてくれたことを思い出させてくれたとのこと。ちなみに「よそう」は漢字で「装う」「粧う」と書き、装う・粧うには美しく整えるという意味があるということも教えてくれたそうです。ご飯を「よそう」という意味を私は考えたこともなかったので、祖母はJさんにそんな良いことを教えてくれたんだなあ嬉しくなりました。

食後はお彼岸ということでJさんのご自宅へ伺って、数年前に亡くなった伯父の仏壇にお花を供えてお線香をあげさせてもらいました。伯父もいつも優しく、小さいころ伯父の部屋に遊びにいくとカーペンターズのレコードをかけて、話し相手になってくれました。私が出来の悪い小学生のころから、そして医師になってからも常に温かく見守ってくれました。

伯父の仏壇の横にはアルバムが置いてあり、そこには昔から亡くなるまでの家族写真が収められていて、伯父がいかに家族に愛されていたかをあらためて実感しました。

伯父の家を後にして、なんだか急に母の顔を見たくなり、母がひとりで暮らす柏の実家に向かう電車に乗りました。5年前に亡くなった父は長男だったということもあり、実家には父のほかに父方の祖父母の位牌と遺影もあり、そちらにもお線香をあげて近況報告をしてきました。父方の祖父は父と似て、物静かで私に会っても一言二言声をかけるくらいでしたが、父方の祖母はその分おしゃべりで「幹ちゃん、勉強は急がないでじっくりやればいから」と言いつつ、とても教育熱心だったのを覚えています。しかし祖父は祖父で子供たち(私の父や叔父たち)のために良い英語教師探しに奔走したり、祖父も教育熱心だったという話を叔父たちから聞き、あの寡黙で何もかも祖母任せにみえた祖父にもそんな一面があったことを意外に思ったものです。

母は数年前に父を亡くしてから高齢のトイプードルと2人?暮らしとなりました。最近も大きな病気を手術をしたばかりで私も心配しているところです。最近、母は祖母が、「大丈夫、大丈夫、いつも明るい気持ちで」といつも言っていたことをよく思い出すのだそうです。祖母はいわゆるお嬢さま育ちでしたが、結婚後夫を亡くし、母を含む5人の子供を苦労して育てあげました。苦しいなかでも愚痴などはまったく言わず、いつもおおらかで愛情深い人でした。

私も母から「大丈夫、大丈夫、明るい気持ちで」と声をかけてもらおうと思議と大丈夫な気になってきますし、子供たちにも「大丈夫、大丈夫、明るい気持ちでね。いつでも応援しているからね!」と心から言葉をかけるようにしています。言葉とは不思議なもので、ポジティブな言葉は幸せに繋がっていると思っています。

さて家に帰って夕食の手伝いをしていると、妻がJさんが話していたのを思い出して、炊きあがったご飯を丁寧によそってくれていました。それを見て、もう会うことはないけれど、昔一緒に過ごした懐かしい人たちが、いまも自分たちの心に寄り添ってくれているような気がして胸がいっぱいになりました。懐かしさと嬉しさを味わった秋のお彼岸の一日でした。